



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月3日

上場会社名 株式会社日本動物高度医療センター 上場取引所 東
 コード番号 6039 URL http://www.jarmec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平尾 秀博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石川 隆行 TEL 044-850-1320
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	552	7.1	73	200.7	54	158.6	32	101.7
29年3月期第1四半期	516	△0.3	24	△65.1	21	△68.2	16	△70.0

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 32百万円 (101.7%) 29年3月期第1四半期 16百万円 (△70.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	13.85	13.13
29年3月期第1四半期	6.89	6.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,340	1,260	23.6
29年3月期	5,125	1,228	24.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 1,260百万円 29年3月期 1,228百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,360	7.7	325	10.4	310	10.8	260	13.3	111.08

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益による、設備投資の増加、雇用・所得環境の改善などにより、景気は緩やかな回復傾向にあります。一方、海外におきましては、米国の経済政策や欧州諸国の政治情勢の影響や中国等の新興国経済の混迷などが懸念され、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループは、飼い主のかかりつけ動物病院（一次診療施設）と連携して高度医療への取り組みを続けるとともに、当社グループ内の診療実績を発表するための学術学会での報告や、獣医師向けセミナー開催を積極的に行うことにより、動物医療業界における信頼の獲得、認知度の向上とそれに伴う紹介症例数の増加に努めてまいりました。その結果、初診数（新規に受け入れた症例数）は1,173件（前年同期比5.1%増）、総診療数（初診数と再診数の合計）は5,031件（前年同期比12.9%増）、手術数は395件（前年同期比12.2%増）となりました。

また、長期安定的な資金調達の実現、借入条件の改善、年間返済額の均等化等を目的として、取引金融機関とシンジケートローン契約を締結し、資金の借換えを実行いたしました。本件借換えに伴い、アレンジメントフィーや不動産担保設定費用等の一時的な費用が発生しました（なお、約定金利の低下に伴う将来の借入利息の減少額は、当該費用を上回る見込みです）。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は552,715千円（前年同期比7.1%増）、営業利益は73,832千円（前年同期比200.7%増）、経常利益は54,971千円（前年同期比158.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は32,437千円（前年同期比101.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,304,175千円となり、前連結会計年度末に比べ202,448千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が210,937千円増加したことによるものであります。固定資産は4,036,512千円となり、前連結会計年度末に比べ12,636千円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が32,155千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、5,340,687千円となり、前連結会計年度末に比べ215,085千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は663,028千円となり、前連結会計年度末に比べ1,064,738千円減少いたしました。また、固定負債は3,416,812千円となり、前連結会計年度末に比べ1,247,386千円増加いたしました。これは主にシンジケートローンの借換えに伴い、短期借入金が650,000千円、1年内返済返済予定長期借入金が405,775千円減少、長期借入金が1,237,587千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,079,841千円となり、前連結会計年度末に比べ182,647千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,260,846千円となり、前連結会計年度末に比べ32,437千円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益32,437千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、平成29年5月11日付「平成29年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	858,317	1,069,254
売掛金	105,665	112,325
商品	41,704	41,345
貯蔵品	2,653	2,653
その他	100,092	85,902
貸倒引当金	△6,705	△7,307
流動資産合計	1,101,727	1,304,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,179,494	1,164,844
土地	2,227,417	2,227,417
その他(純額)	524,606	519,508
有形固定資産合計	3,931,518	3,911,770
無形固定資産	27,651	27,881
投資その他の資産	64,705	96,860
固定資産合計	4,023,875	4,036,512
資産合計	5,125,602	5,340,687
負債の部		
流動負債		
買掛金	47,673	34,987
短期借入金	650,000	—
1年内返済予定の長期借入金	828,772	422,997
未払法人税等	24,337	14,786
賞与引当金	57,439	21,847
その他	119,544	168,411
流動負債合計	1,727,767	663,028
固定負債		
長期借入金	2,129,776	3,367,363
退職給付に係る負債	—	9,700
資産除去債務	39,650	39,749
固定負債合計	2,169,426	3,416,812
負債合計	3,897,193	4,079,841
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,135	333,135
資本剰余金	288,453	288,453
利益剰余金	606,819	639,257
株主資本合計	1,228,408	1,260,846
純資産合計	1,228,408	1,260,846
負債純資産合計	5,125,602	5,340,687

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	516,154	552,715
売上原価	351,076	339,494
売上総利益	165,077	213,221
販売費及び一般管理費	140,522	139,389
営業利益	24,554	73,832
営業外収益		
受取利息	1	0
受取家賃	5,723	5,723
その他	1,153	564
営業外収益合計	6,878	6,287
営業外費用		
支払利息	9,431	8,870
資金調達費用	500	16,232
その他	244	45
営業外費用合計	10,176	25,148
経常利益	21,257	54,971
特別利益		
固定資産売却益	6,999	—
特別利益合計	6,999	—
特別損失		
移転関連費用	7,091	—
退職給付費用	—	9,600
特別損失合計	7,091	9,600
税金等調整前四半期純利益	21,165	45,371
法人税等	5,079	12,934
四半期純利益	16,086	32,437
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,086	32,437

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	16,086	32,437
四半期包括利益	16,086	32,437
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,086	32,437

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。